

太田三郎

POST WAR 69 戦争遺児

のおしらせ

2014年8月11日(月) - 8月23日(土) コバヤシ画廊企画室

関係者各位

いつも大変お世話になりまして誠に有り難うございます。

2014年8月11日(月) - 8月23日(土) の期間、

太田三郎個展

「POST WAR 69 戦争遺児」を開催いたしますので、
ここにお知らせいたします。草木の種を和紙に封じ込めた作品「SEED PROJECT」、
戦後の問題を扱った「POST WAR」など郵便切手の形態を取り
入れた作品を発表する太田三郎の新作展です。今回は発表以来20年近く続く太田三郎のライフワークの一
つ「POST WAR」シリーズの新作です。作家が在住する岡山
に住む戦争遺児の方々取材した新作展です。どうぞ送らせていただきました資料をご査収の上、貴社刊行
の出版物にご案内御掲載をご検討頂ければ幸いに存じます。
何卒宜しくお願い申し上げます。

コバヤシ画廊企画室

「POST WAR 69 戦争遺児 1」
紙にプリント 28.7×15.8cm ed/50

展覧会一般情報

会期： 2014年8月11日(月) - 8月23日(土)

休廊日： 日曜、8月13,14,15日休廊
 ※今回お盆休みを挟むため、イレギュラーな開廊日となっております。

開廊時間：午前11時30分より午後7時まで、最終日は5時まで
 ※初日午後5時30分よりオープニングパーティーを開催します

会場： コバヤシ画廊企画室
 東京都中央区銀座3-8-12 ヤマトビル B1
 TEL03-3561-0515 FAX03-3561-7859
 E-Mail kbysg@gf6.so-net.ne.jp
 HP <http://www.gallerykobayashi.jp/>

作家略歴

太田三郎 OTA Saburo

1950年山形県に生まれる。
 2000年平成12年岡山県芸術文化賞 準グランプリ受賞
 2009年第10回福武文化奨励賞受賞
 2013年第四回創造する伝統賞受賞

1980年よりコバヤシ画廊をはじめ個展多数。
 1997年切手の博物館(東京)、2000「存在と日常」CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)
 2000年「太田三郎 2000-2001」西宮市大谷記念美術館、兵庫
 2002、2006年クムサンギャラリー(パジュ、ソウル。韓国)
 2008年「太田三郎 HIROSHIMA 1990-2008」大原美術館+「有隣荘・太田三郎・大原美術館」大原家旧別邸有隣荘、岡山/
 「太田三郎-日々」山形美術館、山形。
 2009年「太田三郎一蔵二居マス」勝山文化往来館ひしお(岡山)。「太田三郎の世界によろこそ」温海ふれあいセンター(山形)
 2010年太田三郎「出石町の家」アートスペース油亀、岡山

主なグループ展

1994年「人間の条件展—私たちは、どこへ向かうのか。」スパイラル、東京+芦屋市立美術博物館。
 1996年「心を癒す植物—アート・ボタニカル・ガーデン」目黒区美術館。
 1998年「メディアアローグー日本の現代写真'98」東京都写真美術館／「アート、生態系—美術表現の「自然」と「制作」宇都宮美術館
 「Donai yanenn! Et maintenant! (どないやねん!)」国立高等美術学校(パリ)
 1999年「Contemporary Photographic Art from Japan」Neuer Berliner Kunstverein(ベルリン)。
 2000年「Yume no Ato Contemporary art from Japan - 」Haus am Waldsee(ベルリン)、Staatliche Kunsthalle、(バーデン バーデン)。
 2002年「2002 つやま芸術祭」津山市(岡山) [2004、2005] / 「11&11 コリア・ジャパン・コンテンポラリー・アート2002」省谷美術館(ソウル)
 2003年「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003」越後妻有6市町村。
 2004年「'04 寿限無 Super Multiple Art Project」現代美術製作所、東京 主催：富士ゼロックス株式会社、ART BY XEROX /
 2005年「空と大地を旅する 太田三郎・栗田宏一展」京都芸術センター。
 2006年「バードネット—北帰行」さかた街なかキャンパス、「バードネット—新たなる旅立ち」酒田市公益研修センター多目的ホール(山形)
 2007年「ヘイリ・アジアプロジェクト2 日本現代芸術祭」ヘイリ芸術村、パジュ市、韓国 /
 2009年「自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展」和歌山県立近代美術館、和歌山 /
 「KAMI—静と動 現代日本の美術」ザクセン州立美術館版画素描館、ドレスデン、ドイツ
 2010年「PERSONAL STRUCTURES TIME-SPACE-EXISTENCE」Kunstlerhaus Palais Thurn und Taxis、Bregenz, Austria /
 「ROKKO MEETS ART 芸術散歩2010」六甲山一帯、兵庫 / 「岡山・美の回廊」岡山県立美術館、岡山
 2011年「City-Net Asia2011」Seoul Museum of Art、ソウル 韓国 /
 「戦争と日本近代美術」(板橋区立美術館/東京) / 「2011中・韓・日 現代美術交流展 不期而遇」(798 芸術区四面空間画廊/北京・中国)

主なパブリックコレクション

文化庁、東京国立近代美術館。国際交流基金。町田市立国際版画美術館。アルベルティーナ版画美術館(ウィーン)
 国立ドレスデン版画素描館。釜山市立美術館。ソウル国立現代美術館他多数収蔵

作家コメント

POST WAR 69 戦争遺児

父親が戦死された方々取材した「POST WAR 69 戦争遺児」を発表します。2013年11月から2014年4月まで半年間の取材に、70～79歳になる岡山県内在住20名の「戦争遺児」の方々が応じてくださいました。

作品は、父親が戦死した時の状況およびそのことによる暮らしの変化、今日までどのように生きてきたか、未来の人々に伝えたい言葉と顔写真で構成されます。

幼くて当時の記憶が鮮明でなくても、父親を戦争で失った人生そのものが、「戦争とは何か」を具体的に物語るものであり、その理不尽さや残酷さを社会に訴える力を持っていると思います。

安倍総理が意欲を見せる、憲法解釈の変更による集団的自衛権の見直しによって、戦争に参加しやすい環境が作られたとしても、新たな「戦争遺児」を産みだしてはなりません。

2014.5 太田三郎

POST WAR 発表歴

- 1994年 POST WAR 46-47 兵士の肖像 日本人兵士肖像切手作品
- 1995年 POST WAR 50 私は誰ですか 中国残留日本人孤児肖像切手作品
- 1999年 POST WAR 54 被爆地蔵
- 2000年 POST WAR 55 被爆樹
- 2001年 POST WAR 56 無言館
- 2005年 POST WAR 60 被爆者
- 2007年 POST WAR 62 軍人像
- 2011年 POST WAR 66 戦災痕
- 2013年 POST WAR 68 戦ノ碑 (いくさのいしぶみ) 広島—長崎—沖縄—鹿児島—東京

参考画像



POST WAR 50 私は誰ですか 中国残留日本人孤児肖像切手作品 No1 ed/50 1994 29.1X15cm
 POST WAR 54 被爆地蔵 1 プリント ed/50 1999 28.8X15.7cm
 POST WAR 56 無言館 13 プリント ed/50 2000 28.8X15.7cm
 POST WAR 68 戦ノ碑 原爆の子の象 プリント ed/50 2000 28.8X15.7cm